

月の断裂はその目 者による 言が、信 される学者たちによる、途切れることのない多数の 承 路（ハディ ス ムタワ ティル）によって えられており、それが虚 であるということ は不可能なのです。2

疑主 者は言うでしょう。「本当に月が断裂したという 史的な はあるのか。このような 的な出来事は、世界中の人々によって目 され、 されているはずだろう。」と。

この には二通りの答えがあります。

第一の答えとして、世界中の人々が同 にそれを目 することは、各地によって日中であ ったり、深夜であったり、早朝であったりするため、可能ではありません。以下の表 ではマッカ の夜9 が、世界各地では何 であることを示しています：

地域	刻
マッカ	9:00 pm
インド	11:30 pm
パ ス	2:00 am
レイキャビク	6:00 pm
ワシントン D.C.	2:00 pm
リオ	3:00 pm
デジャネイロ	

京	3:00 am
北京	2:00 am

また、近地の人々が大で全く同刻に月を目することは容易いことではありません。そもそも、そうした理由もないのですから。たとえかが目したとしても、それによって人々がその目者を信じ、そういった事をするとは限りません。当の多くの文明は、自分たちの史を面によってするということをしなかったのです。

また第二の答えとしては、当のインドの王による、独立した、かつくべき史的が存在します。

ケララはインドの州の一つです。ケララ州はインド大の南西部、マラバル海峡沿いに伸びる全580キロの州です。[3](#)

マラバルのチャクラワティファルマス王はチェラ王朝を治めていました。彼は月の断裂を目したことがされています。この出来事は写本にされており、在もロンドンの英国インド省に保存されています（参照番号：Arabic, 2807, 152-173）

。ムスリム商人の集による中国への旅路の途中でマラバルに留まった、彼らはアラブ人言者の出と、月の断裂という奇について王にしました。を受けた王は、自分自身もそれを目したことを明かし、息子に政をめさせ、言者に会いに行くべく、アラビア半へと旅立ったのです。王は言者に会い、信仰宣言をし、信仰における基本を学びながらも路において亡くなり、イエメンの港町であるザファ[4](#)に埋葬されました。

派遣はムスリムであるマリクブンディナルによって先され、チェラの首都コドゥンガロールにまでき、西629年に、存するインド最古のモスクを建てたのです。



A pre-renovation picture of the Cheraman Juma Masjid, India's oldest mosque dating back to 629 CE. Image courtesy of www.islamicvoice.com.

改修前のチェラマン ジュマ マスジド。西 629年にまで、インド最古のモスクです。写真提供: www.islamicvoice.com

彼によるイスラム改宗の知らせはケララに届き、人々もイスラムへと改宗しました。ケララ州カリカットのラクシャディプとモプラスの人々は、当改宗した人々の末裔なのです。



改修のチャラマン ジュマ マスジド。インド初の改宗ムスリムであるチェラマン ペルマル チャクラワティ ファルマスにちなんで命名されています。写真提供: www.indianholiday.com

インドからの目、及びインドの王と言者ムハンマドとの面は、ムスリムの史料からもえられています。著名なムスリム史家であるイブンカシールは、インド各地で月の断裂が目されたことに言及しています。[6](#)

またハディースの本では、インドの王の到来と、彼と言者との面が されています。言者ムハンマドの教友アブ サイド アル=フドリ は述べています：

“?????????????????????????????????????????????????????????????”⁷

って、王は言者に一度でも会ったことのある者、そしてムスリムとして死んだ者に付けられる称号である「教友」と なされます。そして彼の名は、言者の教友の1人として、膨大な史料の中に されているのです⁸

夜の旅と昇天

マッカからマディナへの移住の数ヶ月前、神はムハンマドを一夜にしてマッカのハラム モスクからエルサレムのアル=アクサ モスクへとおれになりました。それは1,230キロ、つまり通常のキャラバンで一月かかる距離でした。彼はエルサレムから 天へと昇天し、物理的宇宙の境界を超えて神に し、大なるみしるじ⁹????????????????

を たのです。彼の主 は二つの方法により真であると されました。まず、「言者が 来て来る に追い越したキャラバンについて、それがどこにあったか、そしてマッカのどこに到着するかを 明し、それらは彼が言った通りの 所に到着しました。⁹

次に、彼はそれ以前に一度もエルサレムに行ったことがありませんでしたが、 疑者たちに し、アル=アクサ モスクがどのような 所であったかを正 に 明したのです。

Footnotes:

1 サヒフ ムスリム。

2 Al-Kattani著 ‘*Nadhm al-Mutanathira min al-Hadith al-Mutawatir*’ 215 参照。

3 “Kerala.” Encyclop dia Britannica from Encyclop dia Britannica Premium Service.
(<http://www.britannica.com/eb/article-9111226>)

4 ムハンマド ハミ ドッラ 著 “Muhammad Rasulullah”

において引用されています：「インド南西部の沿岸マラバルの非常に古い では、王の一人チャクラワティ ファルマッカの 言者による月の断裂という名高い奇 を 察し、 の 果、アラビア半 における 言者の到来が予言されていた。彼は 言者の手によってイスラ ムに改宗し、 言者によって 国への 路、イエメンの港町ザファ ルにおいて死にました。そこでは 去に『インドの王』の墓が何世 にも渡 っていました。」

5 「ザファ ル： におけるセファル、古典文学のサッフアル、またはサファルは、南イエメンに位置し、ヤリムの南西にある古代アラビアの都市です。そこは 元前およそ 115年から 元525年まで南アラビアを支配していた部族であるヒムヤル人の首都でした。ペルシャ人による征服（西 5 ）までは、ザファ ルは南アラビアにおいて最も重要かつ有名な町でした。この事 はアラブ人地理学者 史学者だけでなくギリシャ人やロ マ人の著者らによっても 言されています。ヒムヤル王朝が 亡し、その イスラ ムが勃 がすると、ザ 徐々に衰退してきました。」 “ザファ ル”：ブリタニカ百科事典プレミアム版より (<http://www.britannica.com/eb/article-9078191>)

6 イブン カスィ ル「アル=ビダ ヤ ワン=ニハ ヤ」三、130。

7 ハ キム「ムスタドラク」四、150 における 告。ハ キムはこう述べています：「私は 言者が生姜を食べたという 告 においても全く していない。」

イブン ハジャル「アル=イサ バ」三、279、及びイマ ム アッ=ザハビ による「リサ ン アル=ミ ザ ン」三、1「サルバナク」というアラブ人に知られた通り名で されています。

マ ティン リングス著'Muhammad: His Life Based on the Earliest Sources' 103。

言者の45人の教友たちが彼による夜の旅と昇天に して 承しています。ハディ ス大学者であるアッ=スコ著'Azhar al-Mutanathira fi al-Ahadith al-Mutawatira' 263 と、アル=カッタニ 著'Azhar al-Mutanathira fi al-Ahadith al-Mutawatira' の207 参照。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/151>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。